

御言葉の本質(マルコ 12:28-34)

イエス様に会って、人も人生も新しくなったサマリヤの女のように変わる人と、あまり変わらない人、また、霊的に成長する信者、なかなか変わらない信者がいますが、その違いは何でしょうか。御言葉の本質が分かるか、分からないかということがキーポイントです。

1. 御言葉の本質がわかれば、人生の重荷をおろすことが出来る。

1) 御言葉の本質-いのち、キリスト、愛
創世記 3:15、エゼキエル 37:4-5、ヨハネ 3:16-17、ヨハネ 1:14

聖書には数多くの内容がありますが、本質は「いのち」です。罪人である私たちを救い、いのちを得させ、死んでいたたましいを生かすことが御言葉の本質です。女の子孫が蛇の頭を踏み砕き、滅びと死から救われることが御言葉のスタートです。干からびた骨、つまり死んだたましいに、御言葉を預言したところ、生き返りました。イエス様は世をさばくためではなく、救うために来られました。死んでいるたましいを生かすために、イエス様が「キリスト」として来られ、十字架で死に、サタンの頭を踏み砕き、死からいのちに移してくださいました。御言葉が人となって来られました。キリストを送られた神様の愛をすなおに受け入れ、信じることで神様を愛することで、隣人にもキリストが必要だと見ることが隣人を愛することです。ヨハネ 5:42 で、イエス様が律法(御言葉を守っていたパリサイ人に、愛はないと言われました。聖書をいのちがけで守っても、御言葉の本質を逃しているということです。御言葉の本質は、「いのち」「キリスト」「愛」です。つまり、人を生かすことです。

2) 御言葉の本質を逃すと重荷になる
律法、宗教、行い、裁きと落胆の沼
本質なしに、御言葉を背負っていると、重荷になるしかありません。御言葉でいのちを生かすことを逃して、物差しにして、合うか合わないか、判別する材料にしているので律法主義となって、人を殺してしまいます。教会の中にも、それがありません。本質が分からないと、形式だけにこだわる宗教となり、行いで幸せが左右されると、因果応報の考えに縛られます。これは、自分も他の人もだめにする罪です。

3) 御言葉の本質の回復-(33)
マタイ 11:28、ローマ 1:17
そのように御言葉の本質を逃さず、回復するには、「わたしのところに来なさい」と言われるイエス・キリストのところにいきましょう。そして、信仰によって生きると言われたように、重荷から自由になりましょう。神様はいじわるな方ではありません。律法を守ることができないので、本質のいのちを生かすために、祝福するために、キリストを送られたのです。

2. 御言葉の本質がわかれば、いのちを味わい、証人となる。

1) 癒しの御言葉
ヘブル 4:12、Ⅱコリント 10:4-5
私たちの内には、古い人間、心の傷、弱さなどが刻印されています。それらを神様の計画の中で御言葉を与え、癒やしてくださいませ。御言葉は生きていて力があるので、癒やす力があります。強い要塞を打ち砕くために御言葉が与えられています。心に覚えましょう。御言葉に対する間違った理解やイメージを消して、新しく始めましょう。御言葉の本

質は癒やす力ですから、そこにフォーカスを当てましょう。

2) サミットの御言葉
Ⅰコリント 3:16、エペソ 1:3、Ⅱコリント 5:17
また、いのちによってまったく新しい存在となったことを確認して喜ぶために御言葉が与えられています。サミットの御言葉です。いのちがあるので、サミットなのだお知らせくださいませ。古い考えが変わり、自分の評価をいのちによって見つめ直しましょう。神の神殿と言われています。地上のものでは左右されません。天にあるすべての霊的祝福を与えられました。神様とくっついていきます。キリストとともによみがえり、ともに天の御座に座らせてくださいませ。古いものは過ぎ去って、すべてが新しくなったのです。御言葉を向き合うたびに、生かされ、癒やされ、サミットであることを確認しましょう。

3) 御座の力を体験
詩篇 23:1、ピリピ 4:13、使徒 1:7-8>ピリピ 4:6、使徒 1:14
そして、御座の力を体験しましょう。地上のことがどうであっても、御座の力にフォーカスを向けましょう。御座の力を知らせるための御言葉です。どんな状況でもながあっても、初代教会は植民地で、迫害にあい、乞食状態でした。しかし、それは知らなくても良い、力を受けると証人にな

ると約束されました。これが力です。三位一体の神様がともにおられるという確信が生まれます。そして、御座の祝福を見上げつつ祈るようになります。

4) 御言葉の本質を逃すと限界に苦しむ
本質を逃すとみことばを守ろうと思ひ、宗教的な熱心で限界を迎えて苦しみます。自分で自分を変えるのではなく、御言葉によって、癒やし、サミット、御座の祝福を求め、そこからの力で変わるのです。

5) 使徒 2:42、エペソ 4:13-15
そのためには、教会、礼拝がどれほど大切なのかを知りましょう。そのために礼拝で牧師から御言葉が出ます。

御言葉の本質を知り、人間の絶望を認めて、キリスト Only となり、イエスはキリストと告白しましょう。Ⅰヨハネ 5:11-13 に照らしていのちの確信を持ち、ならば使徒 1:7-8 の前に立ちましょう。私の意見は不要です。聖霊が臨まれるとき、神の国が臨むことを体験します。そうすれば、現場が見え、神の国のことが私、現場、仕事に臨むように祈りましょう。そして証人となるように祈るのです。礼拝は、私が癒され、サミットとして立てられる時です。期待しつつ臨みましょう。「神の国は私のもの」と宣言し、味わい、証人の道を歩むようにお祈りします。

1部-マルコ 12:28-34 御言葉の本質
なるほど/御言葉の本質がわかれば、重荷をおろして、いのちの祝福を味わい証人の道に立つ。
ならば/人間の絶望を認めて、Only キリスト、イエスはキリストと告白し、いのちの確信をもって、使徒 1:7-8 の前に立とう！
2部-エペソ 6:10-12 霊的な戦い
なるほど/正しい信仰告白と人生の解釈による問題との正しい戦いは、霊的な戦いであり、信者を無気力から立ち上がらせて、証人の道へと導く。
ならば/信仰告白と訓練などをイベントに思わないで、霊的戦いと受け止めて、神の武具をとろう！